

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

声のかけ橋

第78号

令和4年11月1日発行
豊後大野市議会

令和3年度決算を認定 6

9人の議員が市政を問う 9

キラリ★ひと言 24



新田小学校
運動会

令和4年第3回定例会

(会期 8月31日～9月29日)

8月31日から第3回定例会が開かれました。

今定例会では、報告2件、認定10件、諮問4件、13議案が上程され、慎重に審議を行い、それぞれ可決しました。

9月7日から8日の2日間にわたり行われた一般質問には、9人の議員が登壇し、執行部と活発な論戦を展開しました。(9～18ページ参照)

各常任委員会では、付託議案の審査のほか、事務事業評価を実施しました。(4～5ページ参照)

令和4年度一般会計補正予算(第4・5号)

7億1772万円



《一般会計予算総額》

272億4038万5千円

補正予算の一部を紹介

飼料高騰対策事業

1707万1千円

飼料価格高騰下における畜産農家の経営安定を図るため、飼料購入費の価格高騰分の2分の1相当額を補助するもの。

隣保館建設事業

1277万8千円追加

新隣保館で使用する庁用器具(机・椅子等)の購入やWi-Fi環境等の整備を行うもの。

農地中間管理事業

1040万円追加

「短期集中県域支援品目」であるピーマンとかんしょの農地確保に協力する者に対し、交付金を交付するもの。

農業施設管理事業

1615万2千円追加

県が実施する大野川河川改修工事の土地収用に伴い、千歳農村公園内の施設解体や樹木の伐採等を行うもの。

賦課徴収事業

1399万7千円追加

コンビニ納付に対応するため、個別システムを改修するもの。

中学校施設維持管理事業

756万8千円追加

大野中学校体育館の床部分の張り替えやコーティング等の補修を行うもの。

公の施設の指定管理者の指定

関係人口交流拠点施設の指定管理者を指定



豊後大野市関係人口交流拠点施設の指定管理者を指定することについて、豊後大野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条の規定により「株式会社ホーホウ」を指定管理者に指定するものです。

- 1 指定管理者となる団体
所在地：福岡県那珂川市安徳103番1号
名 称：株式会社ホーホウ
- 2 指定の期間
令和4年10月1日～令和7年3月31日

豊後大野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

育児休業の分割取得が可能に

男性の育児休業取得促進のため、出産直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みを創設し、並びに育児休業の分割取得を可能にするものです。

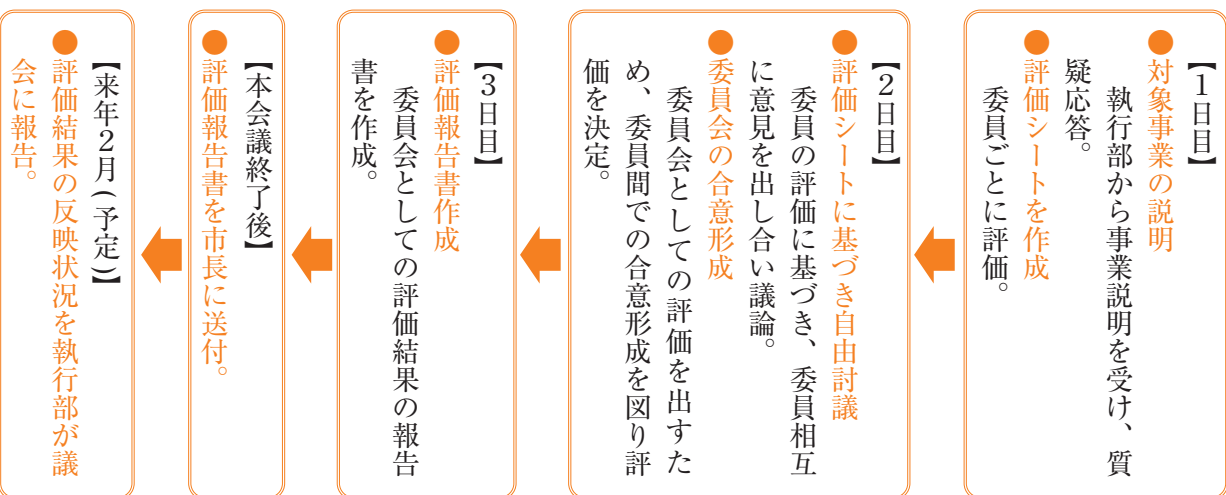


※改正育児・介護休業法の施行に伴い、人事院規則が一部改正されたため、本市の条例を改正するものです。

事務事業評価を実施

各 常任委員会で昨年度の事業の中から2事業ずつ選定し、3日間にわたり、事務事業評価を実施しました。はじめに委員個人ごとに事業結果に対する評価と今後の方向性を評価した上で、委員間で討議し、委員会としての評価を決定しました。評価結果を執行部に伝えることで、今後の業務改善や予算確保などにつながっていくことが期待されます。

事務事業評価の流れ



総務常任委員会

◆【調査事業】

公用車管理事業

【事業の目的（抜粋）】

公用車の使用については、私用車に比べてより適正な管理と安全運転の確保が求められるため、「豊後大野市庁用自動車等管理規定」に基づく事業の遂行を目的とする。

【事業結果に対する評価】

おおむね適正

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

環境に配慮した車両の導入によって、環境問題の啓発や安全運転の徹底を期待する。

車両の更新計画については、維持管理費などの諸経費を考慮して、サブスクリプション等の手法も今後検討することを求める。



市が管理する公用車

◆【調査事業】

結婚新生活支援事業

【事業の目的（抜粋）】

経済的理由から結婚に不安を抱えている方に対し、経済的負担の軽減を図り、低所得の新婚世帯の住居費等を支援することにより、結婚に伴う経済的不安を解消し、結婚の希望をかなえるとともに、少子化対策を図る。

【事業結果に対する評価】

おおむね適正

【事業の今後の方向性】

拡充

【提言など（抜粋）】

結婚・妊娠・出産・子育てを本市が積極的に支援することで、実効性のある少子化対策とすべきである。

そのためには、この事業を単体で捉えるのではなく、関連施策と連携して結婚の機運を醸成してもらいたい。

この事業の補助金の増額や年齢基準などの大幅な見直しを望む。



※サブスクリプション=商品やサービスを所有・購入するのではなく、一定期間利用できる権利に対して料金を支払うビジネスモデルのこと。

厚生文教常任委員会

◆【調査事業】 社会福祉協議会支援事業

【事業の目的（抜粋）】

市社会福祉協議会の体制が充実し、市内での社会福祉活動が活発に行われ、地域住民が積極的に地域福祉活動に参加できるようにする。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

市地域福祉推進大会について、コロナ収束後の実施方法等を検討する必要がある。

みんなで支える地域をつくるために、「身近なボランティア活動」「ちよつとしたボランティア活動」など、気軽に市民が参加できる環境づくりが必要である。また、そのための講習会などに積極的に取り組んでいただきたい。



◆【調査事業】 教育支援センター運営事業

【事業の目的（抜粋）】

市内の小学校または中学校に在籍し、心理的な要因等により不登校状態にある児童・生徒に対して、社会的自立を促す。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

多くの不登校生が通所できるよう、コミュニティバスや路線バス、JRとの連携ができないか働きかけること。

三重町以外の各町で月に一度など定期的な開室ができないか検討すること。

全ての不登校の子どもが社会的に自立できるよう、さらに関係機関と連携し、粘り強く、相談活動を行っていただきたい。そのために必要な専門職の配置について検討すること。

産業建設常任委員会

◆【調査事業】 園芸産地整備事業

【事業の目的（抜粋）】

水田の畑地化による米から高収益な園芸品目への生産転換を加速するとともに、園芸団地づくり計画に位置づけられた大規模園芸産地の育成を重点的に推進し、本市の農業産出額の向上を目指す。

【事業結果に対する評価】

良好

【事業の今後の方向性】

継続

【提言など（抜粋）】

補助率の見直しや認定農業者、法人等に限らず、広い視野を持って事業を進め、各部会内の統一強化、取りこぼしのないような対策が望まれる。希望者のニーズに沿い、技術指導も含めた事業となれば、拡充の方向で進めていける。



市内のねぎ畑

◆【調査事業】 里の旅公社補助事業

【事業の目的（抜粋）】

市内の多様な地域資源を活用した観光ビジネスの展開や新たな地域の魅力を創出するとともに、観光まちづくりのかじ取り役として、観光関連事業者と連携しながら観光ツーリズムに対応できる組織を支援する。

【事業結果に対する評価】

かなり問題

【事業の今後の方向性】

改善

【提言など（抜粋）】

平成26年から始まったが、現在継続している事業も実績としては不十分であり、事業を整理し見直しをする必要がある。

この状況を打破する手段として、里の旅公社の発展的解消を行い、豊後大野市観光振興ビジョンの抜本的見直しも含め、新しい名称・事務所所在地に変更したうえで、観光協会の設立を提言し、ツーリズム推進会議の活動を唯一の希望として見守りたい。

令和3年度 決算 認定

一般会計 歳出決算は前年度に比べ 53 億 206 万 5 千円減少

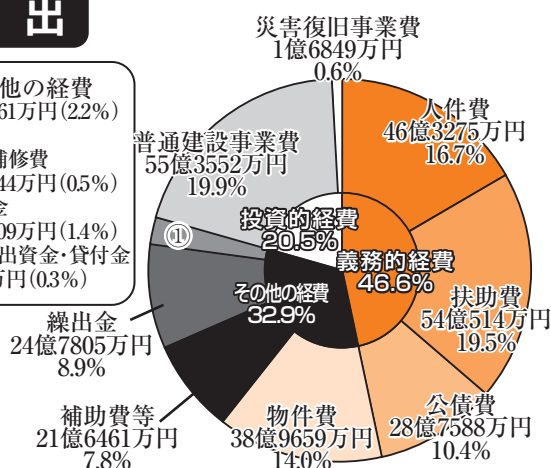


決算特別委員会（田嶋栄一委員長）が、9月21日と22日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計等の決算を審査しました。いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月29日の本会議で採決の結果、認定されました。

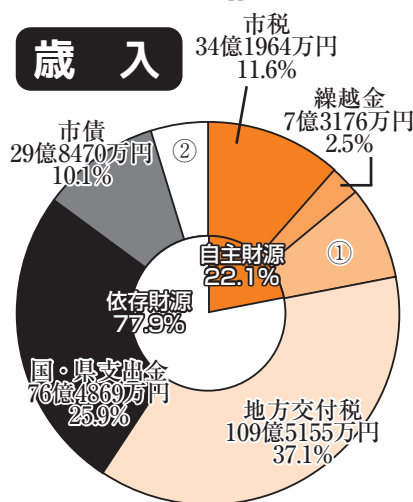
《一般会計決算の内訳》

歳 出

- ①その他の経費
6億1861万円(2.2%)
【内訳】
◆維持補修費
1億2844万円(0.5%)
◆積立金
3億9709万円(1.4%)
◆投資・出資金・貸付金
9308万円(0.3%)



歳 入

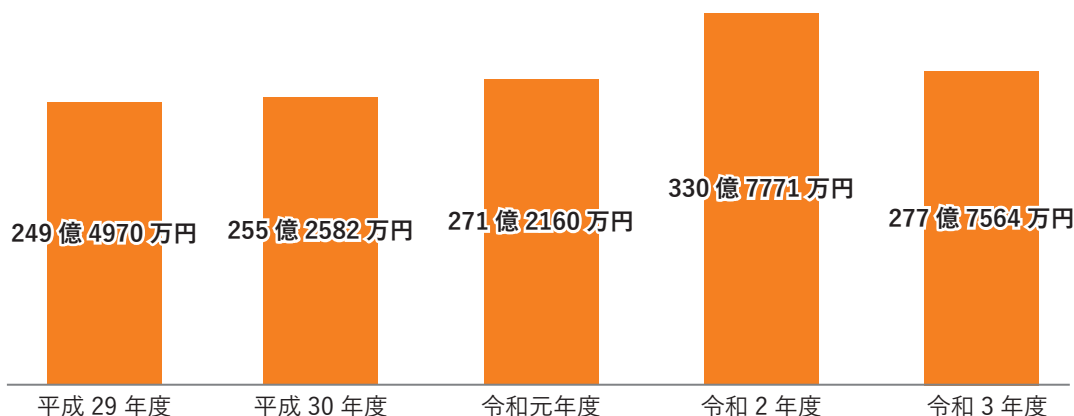


- ①その他自主財源
23億6341万円(8.0%)
【内訳】
◆分担金及び負担金
3億5867万円(1.2%)
◆使用料及び手数料
4億4183万円(1.5%)
◆財産収入
1億5921万円(0.5%)
◆寄附金
2億3845万円(0.8%)
◆繰入金
8億4418万円(2.9%)
◆諸収入
3億2107万円(1.1%)
- ②その他依存財源
14億1875万円(4.8%)
【内訳】
◆地方譲与税
4億1138万円(1.4%)
◆地方交付金
10億737万円(3.4%)

合計 277 億 7564 万円

合計 295 億 1850 万円

5年間の一般会計歳出決算の推移



※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。

《各会計の決算状況》

会計名			歳 入	歳入前年比	歳出	歳出前年度比
一般会計			295億1850万2千円	－ 47億2633万3千円	277億7564万3千円	－ 53億206万5千円
特別会計	国民健康保険		50億3070万3千円	＋ 1億5451万2千円	47億5732万7千円	＋ 7743万3千円
	後期高齢者医療		5億7912万4千円	－ 370万3千円	5億7574万1千円	－ 382万3千円
	介護保険		66億248万円	－ 3808万4千円	65億5050万円	＋ 701万3千円
	農業集落排水		2億881万3千円	－ 108万9千円	1億8292万4千円	－ 382万1千円
	浄化槽施設		4551万9千円	－ 93万5千円	4228万4千円	＋ 128万6千円
	計		124億6663万9千円	＋ 1億1070万1千円	121億877万6千円	＋ 7808万8千円
合計			419億8514万1千円	－ 46億1563万2千円	398億8441万9千円	－ 52億2397万7千円

会計名			歳 入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
企業会計	上水道	収益的収支	5億5058万2千円	－ 122万7千円	5億7232万2千円	＋ 490万8千円
		資本的収支	1億1262万2千円	＋ 241万6千円	3億3321万4千円	－ 2645万9千円
	病院事業	収益的収支	43億5106万5千円	＋ 4億4253万1千円	36億7227万5千円	＋ 9585万2千円
		資本的収支	9448万5千円	－ 4663万2千円	3億1936万4千円	－ 5933万6千円
	電気事業	収益的収支	1億883万円	－ 1232万2千円	6342万3千円	－ 340万4千円
		資本的収支	4440万9千円	＋ 1316万2千円	4440万9千円	＋ 1316万2千円
	公共下水道	収益的収支	9301万5千円	－ 290 万 4 千円	8335万6千円	－ 114 万 1 千円
		資本的収支	695万2千円	＋ 66 万円	3314万2千円	－ 294 万 7 千円

地方債（借金）

基金（貯金）

一般会計・特別会計		
会計名	令和2年度末現在高	令和3年度末現在高
一般会計	250億3779万円	252億3304万2千円
特別会計	農業集落排水	6億8501万7千円
	公共下水道	2億1343万2千円
	浄化槽施設	3251万4千円
	上水道	32億7642万8千円
	豊後大野市病院	21億6068万2千円
	合計	314億586万3千円

一般会計・特別会計		
基金名	令和2年度末現在高	令和3年度末現在高
一般会計	財政調整基金	58億6454万7千円
	減債基金	17億8388万8千円
	その他特定目的基金	100億9196万5千円
	その他定額運用基金	6億7083万円
特別会計	国民健康保険基金	5億4228万2千円
	高額療養費貸付基金	500万円
	介護給付費準備基金	4億1508万6千円
	農業集落排水事業基金	839万6千円
	浄化槽整備推進事業基金	480万5千円
合計		193億8679万9千円

監査委員の意見

財政支出バランスのとれた持続可能な財政運営を

令和3年度決算に係る決算審査を実施しました。一般会計及び5特別会計は、いずれも黒字決算であり、財政状況は良好で財政の健全性が確保されていると認められます。

基金は23基金で、年度末現在高の合計額は195億2236万5千円となっています。

今後とも予算の計画的な執行に努め、財政収支バランスのとれた効率的で効果的な財政運営に期待します。

また、第2次豊後大野市総合計画後期基本計画で新たに設定した目標等を常に点検評価するとともに、費用対効果を十分に検証し、持続可能な行財政運営を推進されるよう希望します。

公営企業会計については、電気事業（太陽光発電所）が、9440万9千円の純利益となっており、事業運営が順調であると認められます。

上水道事業については、3174万4千円の純損失が生じております。今後は人口減少や施設の老朽化が見込まれるため、抜本的な見込み策を検討し、経営安定化を図ることを要望します。

公共下水道事業については、867万6千円の純利益となっていますが、財源の一部に一般会計からの補助金が繰り入れられているため、受益者負担の原則に基づき、使用料の収納率向上に取り組みされるよう要望します。

病院事業は、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金等により単年度では黒字となっていますが、財政状況が改善したとはいえません。現在策定中の公立病院経営強化プランでは、安定的な病院経営につながる現実的な計画を策定し、全般的な経費節減や合理化を進めるなど、より一層の経営の改善に取り組まれることを強く望みます。



芝田榮造
代表監査委員

令和3年度に実施された事業に注目

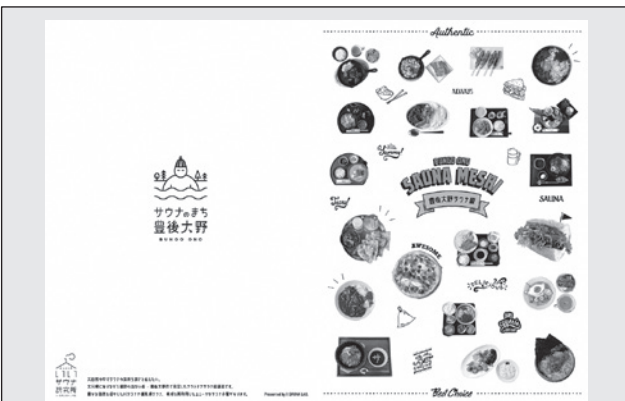
令和3年度にどのような事業が実施されたか、その一部を紹介します。



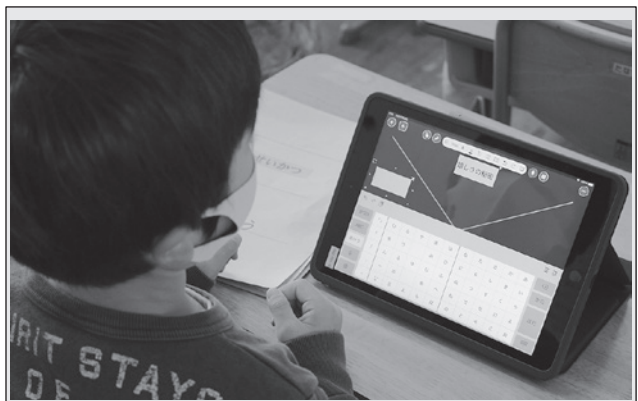
多機能型の関係人口拠点施設として利用できるよう旧歴史民俗資料館を改修しました。



市営市原住宅2期建替工事が行われました。



市内飲食店等と連携したサウナ飯 PR 用パンフレットを作成しました。



市内の小中学校に対し、ICT 教育に必要な端末の整備、及び ICT 機器の維持管理を実施しました。



地域で特色を持った雌牛を保留し、次の世代に引き継ぐ支援をするための助成を行いました。

9人の議員が市政を問う

9月7日と8日に行われた一般質問には9人の議員が登壇し、空き家対策、部活動の地域移行、農業振興についてなど26項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しております。また、議員の写真下に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策でアクリル板を設置して行いました。

一般質問

● 首藤正光（10 ページ）

- クヌギ原木の利用について
- 農業用水路について
- 都市計画区域について

● 川野辰徳（11 ページ）

- 指定管理者の選定について
- 三重原地区の悪臭問題について
- 農業について

● 原田健蔵（12 ページ）

- 「サウナのまち」宣言に至る経緯、その効果について
- 空き家対策について
- 相続登記義務化について

● 後藤雅克（13 ページ）

- 自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進等について
- 部活動の地域移行について

● 佐藤昭生（14 ページ）

- 三重町「内山公園」周辺の整備等の計画について
- 葬斎場（三重葬斎場・大野葬斎場）の使用料について
- 本市におけるマイナンバーカードの普及について

● 小野順一（15 ページ）

- 農業振興について
- ヘリポートの設置について

● 高野辰代（16 ページ）

- オール豊後大野で取り組む認知症施策について
- 本市の救急搬送の状況について
- 本市の特殊詐欺被害の状況と対策について

● 春野慶司（17 ページ）

- 市火葬場の残骨灰処理業務を一般競争入札に付すべきではないか
- 市内の自転車通学の生徒に対し、決められたことを守る心を涵養しよう
- 市と指定管理者との間で交わされる基本協定書の改正について
- (株)ぶんごおおのエナジーの第5期事業報告書への素朴な疑問について

● 工藤秀典（18 ページ）

- 新型コロナウイルス感染対策関連事業の住民票等コンビニ交付サービス導入事業について
- 椎茸の種駒補助金と生産者確保、増収について
- 燃油補助金制度について



※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っています。

クヌギ原木の利用について

費用対効果は得られず、
現時点では活用が困難



しゅとうまさみつ
首藤正光
緑政会



質

しいたけ原木に適さ
なくなつたクヌギの利
用方法は。

答 農林整備課長

大径化したクヌギの
活用については、今年
度まで豊後大野市林業
振興協議会で研究中で
あるが、これまでの2
年間の検証では、しい
たけ原木として使えな
い部分の再利用は費用
対効果は得られず、現
時点では活用が困難で
あることが判明した。
また、バイオマス発
電所への木材の持ち込

みについては、F I T
制度により森林経営計
画に入つた木材でなけ
れば、高い価格での売
電ができないことにな
っている。

しかしながら、市内
のクヌギ林の大半が森
林経営計画に入ってい
ない状況である。

そのため、しいたけ
原木として利用できな
い部分の活用を模索す
るためにも、まず市か
ら大野郡森林組合に対
し、クヌギ林の森林経
営計画促進を依頼する
とともに、エフバイオ
スに対し、クヌギ林の
積極的受け入れを文書
で要請した。

農業用水路について

安全対策事業を推進し、啓発活動に努める

質

農業用水路の安全に
ついて、その対策と経
過は。

答 産業建設統括理事

緒方町の市道沿い
水路に転落防止柵を設
置した。この防止策に
ついては、高さ1・1
メートル、全長95メートルの4段柵
とし、景観に配慮した
施工を行った。

市では、新たに地域
農業水利施設保全対策
事業に取り組むことと
しており、現在は機能

保全計画書を策定中で
ある。

水路の安全対策は、
市のみならず、土地改
良区、自体会や学校、
PTA、老人会といつ
た地域住民などの組織
と連携して進める必要
があるので、今後も情
報提供をいただきなが
ら安全対策事業を推進
するとともに啓発活動
にも努める。

その他の質問

・都市計画区域につい
て



水路の転落防止柵（緒方町）



かわの たつ のり
川 野 辰 徳
無 会 派



質 豊後大野市の指定管理者選定制度の現状はどのようなになっているのか。

答 財政課長 本年6月に開催された第2回定例会の一般質問の中で、議員から指定管理者選定等委員会の公平性、透明性の確保という観点から見れば、識見を有した外

部委員を積極的に活用すべきではないか等のご指摘をいただき、担当事務局の選任等について、検討を重ねてきた。

そこで、8月に実施した豊後大野市関係人口交流拠点施設に関する指定管理候補者の選定に際しては、委員会において、全5名の中に3名の外部委員を選任し、実施した。

指定管理者の選定について

専門性や公平性のある選定委員会の開催に努める

今後も、専門性や公平性のある、効果的・効率的な選定委員会の開催に努めていく。

三重原地区の悪臭問題について

養豚業者からの報告を注視していく

質

今年も、帰省する家庭が例年より多く、三重原地区だけでなく、入北地区でも悪臭について声が上がっているが、対策は。

農業について

収益力向上を目指した生産振興を進める

答 産業建設統括理事

これまでどおり養豚業者に清掃記録・豚数の報告を求め、状況を確認している。

今後も、三重原区と情報共有しながら、養豚業者からの報告を注視していく。

質

大分県は米から園芸へと転換を進めている。米の作付面積は。

答 農業振興課長

令和3年産は2400鈔まで減少した。

このような中、本市では、主食用米と比べて面積当たりの収益性



さといも畑（大野町）

が高い野菜や果樹等への転換を積極的に推進している。

とりわけ、収益力の向上を目指し、夏秋ピーマンをはじめ、かんしょ、さといもなど10品目を園芸重点品目として位置づけ、産地化を推進している。

昨年の「サウナのまち」 宣言以降の波及効果は

本市の認知度も向上している



はら だ けん ぞう
原 田 健 蔵

黎 明 会



質

「サウナのまち」宣言以降の利用者の増減は。

答 市長

令和2年度は834人、令和3年度は4214人、今年度は7月末現在で2851人の利用で、年度末には1万人を超えることが予想される。

質

メディアへの波及効果は。

答 市長

把握しているものだけでなく、テレビ・雑誌・その他インターネット記事等を含めると56件取り上げていただいている。

また、直接サウナ事業者への取材もあり、「サウナのまち」としての認知度のみならず、本市の認知度も向上しているものと認識している。

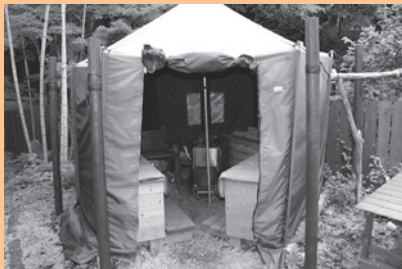
質

今後の課題は。

答 市長

市内には、サウナとコラボすることで今以上の集客を期待できる場所が数多くあると考えている。そのため、今年度から、新たにサウナ事業に取り組む事業者に対し、テントサウナなどの購入費の補助を行うこととしている。

併せて、サウナはフィンランドが発祥の地とされていることから、フィンランドとの交流、連携を見据えた取り組みも検討したい。



テントサウナ



天然の水風呂

稲積水中鍾乳洞（三重町）

相続登記の義務化について

周知及び啓発に努める

質

令和6年4月から相続登記が義務化されるが、市としての取り組みは。

答 税務課長

本市の対応・取り組みとしては、死亡届の手続きの際に、窓口で相続登記を促す広報チラシを配布しているほか、固定資産税納税通知書の当初発送の際にも広報チラシを同封している。

今後も、窓口での相談対応のほか、市報・ホームページ等を通じて広報を行い、相続登記の義務化について、周知及び啓発に努めていく。

その他の質問

・空き家対策について



こ とう まさ かつ
後 藤 雅 克
創 生 会



運動部活動等の地域移行について

関係団体との連携を深める

質

令和5年度から令和7年度末までの3年間をめどに、休日の運動部活動から段階的に地域移行するよう国が方針を打ち出しているが本市の状況は。

答 教育次長

現在、本市では、朝地小中学校が県の指定を受けて、地域スポーツクラブと連携しながら、地域移行へのモデルづくりに取り組んでいる。そして、令和5年度から休日の部活動

の段階的な移行を図るため、本年度中に方針及びスケジュールを明確にできるよう、学校をはじめ社会教育課や他団体との連携・協議を進めている。

しかしながら、部活動の地域移行には、さまざまな課題も考えられている。

朝地小中学校では、受け皿である朝地フレンドクラブの指導者が指導を行っているが、クラブ内で指導者の確保が難しい部活動については、教職員が兼職兼業として指導に当たっており、指導者の確保及び受け皿となるスポーツクラブ等との連携が大きな課題となっている。

また、朝地小中学校では、県の指定を受けている令和3年度からの2年間については、必要経費が県の予算か

ら確保されているが、指定期間が終了する来年度以降、財源の確保が難しくなる。

さらに、スポーツクラブでの活動には個人負担が発生し、入会金や月謝、大会への参加費用等が保護者負担となることから、国や県に対して補助金の継続と移行に向けた恒常的な支援を強く求めているとともに、市独自の対策も検討していく。

これからも、学校と地域が協働・融合した形での持続可能な部活動運営を目指すとともに、子どもたちのニーズに応え、各地域における環境を整備するために、関係団体との連携を深めながら地域移行を進めていく。



朝地フレンドクラブの活動

その他の質問

・自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進等について

三重町「内山公園」周辺の整備等の計画があるか

現時点では大規模な整備計画はない



さとう あき お
佐藤 昭 生
黎 明 会



質

かつて「よみがえる飛鳥ロマン」と銘打って三重町駅前から内山公園の桜並木まで行列が行われていた、壮大な「真名野長者祭り」も今はもうなく、内山公園では色あせた般若姫の巨大な像がむなし



般若姫像

く立ち尽くしている。貴重な観光資源を備えた内山公園周辺をこのまま放置しておくのか、今後、整備等の計画があるのか伺う。

答 商工観光課長

内山公園の利活用については、ぶんど大野里の旅公社が、毎年桜の時期にウォーキングイベント「里の旅ピクニック」を実施している。

今後も継続した開催が計画されているので、公社と連携して事業に取り組みながら、公園の利活用に向けて、関係者への働きかけについても検討していく。

質

施設入居等の関係で、やむなく住民票を移さざるを得なかった方が死亡したときも、市民以外の者の扱いになるのか。

葬斎場（三重葬斎場・大野葬斎場）の使用料について

運用見直しに向けて検討していく

答 環境衛生課長

現行では市民以外の区分で取り扱いをしている。今後、弾力的な運用が必要ではないかと思われるので、葬斎場使用料金の運用見直しに向けて検討していく。

本市におけるマイナンバーカードの普及について

本市の普及率は県平均より低い状況にある

質

本市におけるマイナンバーカードの普及率、普及促進活動の取り組みについて伺う。

答 総務企画統括理事

今後の普及促進としては、新たに県立高校、専門学校、施設等への出張申請サポートを実施し、さらに、外部委託事業者による市内商業施設での特設申請窓口開設も計画し推進していく。



おの じゅん いち
小 野 順 一
政 友 会



農業の環境負荷低減に向けた取り組みは

取り組みを推進する

質

みどりの食料システム戦略の概要は。

答 農業振興課長

みどりの食料システム戦略は、いわゆるみどりの食料システム法に基づいて、目標達成に向けた取り組みを具現化したものとなっている。

具体的な取り組み目標としては、化学肥料の使用量2割減や、園芸施設でヒートポンプ等を使用した加温面積を5割にすること等が掲げられている。

質

堆肥施用、有機農業促進の取り組みは。

答 農業振興課長

現在、白ねぎ部会では県の事業、ピーマン部会では国庫事業を活用した土壌分析に取り組んでいる。

今後は、ほかの部会やJA出荷者以外の農家についても取り組みを推進していきたい。

質

有機農業促進に向け、学校給食との連携は考えられないか。

答 農業振興課長

有機農産物については、生産量が少なく安定供給が困難なことなどの課題があるため、慎重に検討する必要がある。

ヘリポートの設置について

常に安全に使用できるよう維持管理に努める

質

ヘリポートとして指定を受けている場所はあるか。

答 消防長

防災航空隊に登録された場外離着陸場は、市内に8カ所あり、ドクターヘリが着陸する場所（ランデブーポイント）は、市内に31カ所ある。

なお、救急現場の状況次第により、機長の判断でランデブーポイント以外の場所に着陸することもある。

質

ヘリポートの維持管理等について伺う。

答 消防長

場外離着陸場については、毎月調査する。ランデブーポイントも昨年11月に調査し、異常はなかった。

今後についても、あらゆる事案に対して常に安全に使用できるように維持管理に努めたい。



ヘリポートに指定されている
サン・スポーツランドみえ

オール豊後大野で取り組む 認知症施策について

認知症の早期発見と予防につなげるよう努める



たかの 高野 辰代

創 生 会



質

「認知症になっても
本人の意思が尊重され、
できる限り住み慣れた
地域で安心して暮らせ
るまち」を目指す姿と
しているが、その施策
について伺う。

答 高齢者福祉課長

地域包括支援セン
ターに認知症地域支援
推進員、各支所のブラ
ンチに社会福祉士など
を設置し、身近な相談
窓口となっている。



認知症サポーターキャラバン
マスコットのロバ隊長

質

平成29年に本市では、
認知症初期集中支援チ
ーム「すまいる応援隊」
が設置されているが、現
在の状況は。

答 高齢者福祉課長

認知症の疑いがある
方が必要な医療や介護
につなげるための支援
を行っている。

令和3年度は11件が
医療や介護につながっ
た。

質

認知症サポーターにつ
いて、市内の小学校4年
生全員が養成研修を受
けるシステムはつくれな
いか。

答 学校教育課長

学校と協議して小中
学校に取り組みを広げ
ていくことを検討する。

本市の救急搬送の状況について

コロナ陽性患者を毎日のように搬送している

質

コロナ禍前と比べて
救急搬送の状況は。

答 消防長

8月1日現在でコロ
ナ陽性患者を含む救急
出動件数は1179件
となっている。

質

あんしん見守りボト
ルの救急隊の活用事例
はあるのか。

答 消防長

昨年26件の活用が
あった。より早い救命
処置を開始することが
でき、安心につながっ
ている。

質

現在、新型コロナウ
イルス感染症の影響で
中止または延期してい
るAEDや救急講習の
開催予定は。

答 消防長

救急講習の依頼があ
れば、講習用のDVD
やAED等を貸し出し
ている。今後の開催は、
感染状況をみながら検
討する。

その他の質問

・本市の特殊詐欺被害
の状況と対策につい
て



はるのけいし
春野慶司

黎明会



大野葬斎場（大野町）

豊後大野市火葬場の残骨灰処理業務を 一般競争入札に付すべきではないか

他市の状況を調査研究する

質

現在、本市が業者との間で結んでいる残骨灰処理契約の金額は年間4万円で、令和3年の火葬の件数が819件であったことから、1件あたりでは約50円となる。50円でも業者

の利益が出るのは、残

答 環境衛生課長

残骨灰の処理については、自治体に委ねられており、契約満了時には他市の状況を踏まえながら見直しが必要であると認識している。他市の状況は、1円

などの低額入札、売却、残骨灰から抽出した有価金属のみを売却など、対応はさまざまであるが、市民に透明性のある説明ができるよう、今後も他市の状況を調査研究していく。

質

本市と指定管理者契約を交わしている、ある株式会社との基本協定書には、指定管理者の定款に変更が生じた場合の指定者に対する変更届の提出義務の規定が欠落している。極論だが、契約を交わした当時とは似ても

市と指定管理者との間で交わされる 基本協定書の改正について

財政課を中心に協議する

答 財政課長

似つかない会社にすることも、商業登記上は可能になってしまったため、この規定は設けてもらいたい。

全ての協定書を確認した結果、多くの協定書が重要事項の変更の届け出の対象を定款の変更と規定せず、その対象を限定して規定しているケースが見受けられた。

重要事項の変更の届け出の対象となる重要事項の選定については、定款も含め、どのような事項を規定するのがよいか、協議等を行い、令和5年度からの協定書に反映すべく、その準備を進めていきたい。

その他の質問

・市内の自転車通学の生徒に対し、決められたことを守る心を涵養しよう

椎茸の種駒補助金と 生産者確保、増収について

喫緊の課題と考えている



く どう ひで のり
工 藤 秀 典
市 民 ク ラ ブ



質

今年も、全国乾椎茸

品評会で団体優勝となつたが、生産者の減少により、生産量、販売額ともに頭打ちになっている状況である。ここ数年の生産者数、生産量、販売額について伺う。

答 農林整備課長

平成29年度の生産者数857名、生産量163・4ト、販売額については、生産量を基にした産出額の推定値で6億1400万円。

質

令和3年度では、生産者数456名、生産量108・6ト、産出額4億800万円となっている。

種駒補助金は相当昔からなされているが、当初は、種駒補助金の金額は1駒あたり1円で、今もそのままである。

当時は種駒が1駒2円だったから、半額補助ということになる。現在、種駒は、ほぼ4円に近い値段になっているが、今後見直しの計画はあるか。

答 農林整備課長

本市では、しいたけ生産量の安定化と生産者確保のため、2万駒を超える植菌者に対して、購入した種駒数から2万駒を控除した数量に1円を乗じて得た

額を市単独で補助している。

種駒補助金については、現在のところ見直しの計画はないが、種駒の金額は現在4円近くになってきているので、今後の有効策について、県内各市町村の状況を見ながら検討していく。

今後については、県や関係機関と連携しながら、作業路の整備や散水施設、人工ほだ場の補助を行う「しいたけ増産体制整備総合対策事業」、乾しいたけ生産に必要な技術と知識を学ぶ「しいたけ版ファーマーズスクール事業」等を拡充するなどして、さらなるしいたけ生産体制の整備に努めていく。



しいたけのほだ場



人工ほだ場

その他の質問

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業の住民票等のコンビニ交付サービス導入事業について
- ・ 燃油補助金制度について

各議員の議案に対する賛否の状況(令和4年第3回定例会)

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 衛藤竜哉議員は議長職のため表決権はありません。

会 派 名 議員名 件 名	議決年月日	議決結果	市民クラブ				創生会				黎明会				政友会		緑政会		
			穴見 眞児	嶺 英治	吉藤 里美	工藤 秀典	佐藤 辰己	赤峰 映洋	後藤 雅克	高野 辰代	田嶋 栄一	原田 健蔵	春野 慶司	佐藤 昭生	沓掛 義範	小野 順一	首藤 正光	川野 優治	川野 辰徳
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第1号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第2号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第3号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について（諮問第4号）	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市一般会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市電気事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市上水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度豊後大野市病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月29日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市矢田ダム対策委員会条例及び豊後大野市矢田ダム関連地域振興に関する条例の廃止について	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定について	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
市道路線の認定について	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市一般会計補正予算（第4号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算（第1号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市電気事業特別会計補正予算（第1号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊後大野市病院事業特別会計補正予算（第2号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
令和4年度豊後大野市一般会計補正予算（第5号）	9月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会全員協議会を開催



令和4年8月9日に豊後大野市議会全員協議会が開催されました。今回の全員協議会では1件の議事について協議が行われ、その他2件について執行部から報告が行われました。各議員からは議事に関して質疑や意見が出されました。協議会で取り扱った案件は下記のとおりです。

案件一覧表

担当課	件 名
社会教育課	豊後大野市スポーツ施設の整備等に関する基本計画(案)について
子育て支援課	「豊後大野市認定こども園緒方保育園」園舎建築について(報告)
まちづくり推進課	ぶんどおおのフェスタ 2022 について(報告)

議会活性化委員会行政視察

令和4年7月27日～29日
埼玉県富士見市・東京都青梅市

富士見市議会では「議会報告会」と「意見交換会」の取り組みを視察。

富士見市議会では、独自の取り組みとして、3つの常任委員会ごとに意見交換会を開催しています。

具体的には、常任委員会委員の改選後、解決すべき課題を設定し、現状を確認するための執行部との学習会を実施。その後、関係団体と意見交換を経て、先進地への行政視察を行います。そして再度、関係団体と意見交換会を行い、解決策を提言するという形をとっています。

これは、市民からの要望を聞くためではなく、広く意見を聴いてまとめ、議会として執行部に提案できるようにするためであるとのことでした。



富士見市議会視察の様子

青梅市議会では「通年議会」の取り組みを視察。

過去に大変な降雪災害が発生し、対応に追われたことを受け、突発的な事案が発生した際でも柔軟に対応できるようにしたいとの思いから、通年議会制の導入に至ったとのこと。

メリットとしては、常任委員会が定例会期以外でも、活発に開催できることを挙げていました。ただ、通年議会にしたからといって、専決処分が全くなくなったわけではなく、訴訟の和解案件等は専決処分を行っているとのことでした。

豊後大野市議会としては、今後も当面の間、通年議会についての調査を続け、情報の収集を行うことで、方向性を定めていきたいと考えています。



青梅市議会視察の様子

総務常任委員会行政視察

令和4年8月2日～4日
北海道石狩市・北海道室蘭市

石 狩市では関係人口創出の取り組みを視察。

石狩市の取り組みの代表的なものに、石狩アグリケーション事業があります。

都市部などから大学生や社会人に来てもらい、人手が必要な農家と結びつけて農作業を手伝ってもらう「ベーシックタイプ」、ネット環境が充実したスペースを開放し、農作業後は本業のリモートワークに専念できる「スマートタイプ」など数種類のプログラムを用意しています。

この事業を続けることで、地域農業の労働力不足を解消するだけでなく、石狩市の農業を見て、知って、食べてもらうことで将来的な移住・就農につなげていく狙いがあるとのことでした。



石狩市視察の様子

室 蘭市では、民間活力導入手法による公共施設集約化事業を視察。

DBOという手法で、生涯学習センターを建設・運営しており、本市への導入の可能性を調査しました。

本市の指定管理は公設民営が主ですが、室蘭市の事業手法は、デザイン、ビルド、オペレート、略してDBO方式と呼ばれ、施設の設計から建設、運営までをすべて企業グループに委ねるということです。

この方式は施設整備費の抑制につながるだけでなく、運営事業者の意見を設計に反映することができるなどのメリットがあります。

雨模様の中での視察でしたが、屋内のキッズパークなどもあり、施設のにぎわいを非常に感じる事ができました。



室蘭市視察の様子



視察の様子



人権研修会の様子

視察を受け入れ ～長野県駒ヶ根市～

8月3日に長野県駒ヶ根市議会の皆さんが、「サウナのまち」宣言によるまちづくりの取り組みを視察しました。
視察会場として「ロジきよかわ」を使用させていただき、説明後は質疑や意見交換など、活発に行われました。

人権研修会を実施

9月29日に人権研修会を開催しました。
テーマがハラスメント研修だったため、女性市議が受けやすいハラスメントの説明を事例を交えて分かりやすく説明していただきました。
また研修の後半では、臼杵市のパートナーシップ制度を例にとり、議会の多様性の大切さを再認識させられました。

議会日誌

7月

- 4日(月) 議会広報編集特別委員会
- 6日(火) 議会広報編集特別委員会
- 12日(火) 議会広報編集特別委員会
- 21日(水) 議会活性化委員会
- 27日(火) 議会活性化委員会行政視察
(埼玉県富士見市)
- 28日(水) 議会活性化委員会行政視察
(東京都青梅市)

8月

- 2日(火) 総務常任委員会行政視察
(北海道石狩市)
- 3日(水) 総務常任委員会行政視察
(北海道室蘭市)
- 長野県駒ヶ根市議会行政視察 来市
- 9日(火) 全員協議会
- 議会運営委員会
- 23日(火) 議会運営委員会
- 24日(火) 議会活性化委員会
- 29日(月) 議会運営委員会
- 31日(水) 第3回定例会開会(議案上程)
- 厚生文教常任委員会
- 議会広報編集特別委員会

9月

- 7日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(木) 本会議(一般質問)
- 14日(水) 本会議(議案質疑)
常任委員会(総務)
- 15日(木) 常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 16日(金) 常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 20日(火) 常任委員会(厚生文教)
- 21日(水) 決算特別委員会(特別会計)
議会運営委員会
議会活性化委員会
- 22日(木) 決算特別委員会(一般会計)
- 29日(水) 本会議(閉会)
議会運営委員会

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



サンクス

樹齢100年以上の3本のくすの木に見守られて、ぼくたち三重第一小学校のみんなは毎日元気に活動しています。なかでも、ぼくの好きな「サンクスの花」という活動を紹介します。

まず、サンクスとは、第一小学校のシンボルである3本くすと、ありがとうを意味するサンクスの、二つの意味が込められています。

サンクスの花の活動とは、友達のあいさつやそうじなどで良かったところ、すごいなと思ったところを花の形の紙に書いて、その紙を児童玄関に貼られた木に飾る取り組みです。学年ごとに分けられた六つの色とりどりの木が、少しずつ大きくなるのを見るたびに、元気をもらうことができます。他にもあいさつ運動やなかよし班活動（縦割り班活動）など、みんなが元気になったり、盛り上がったる活動がたくさん行われています。

これらの活動で、全校のみんなが3本のくすの木のように元気に大きく育つよう、これからもみんなで協力して取り組んでいきたいです。



三重第一小学校 6年

おかだ かずゆき
岡田 和之

より良い大野中を目指して



大野中学校 3年

はだの さき
羽田野 桜妃

大野中学校では、「広げる輪」を生徒会テーマに掲げ、生徒会活動に取り組んでいます。その中で、特に力を入れて取り組んでいる活動が二つあります。

一つ目は挨拶です。「挨拶week」では、特に挨拶に力を入れる週を決め、目標を立てて取り組みます。「大中MR」では、朝、校門に立ち、挨拶をしながら資源物を回収しています。「挨拶運動」は実態に合わせて形を変えながらも、約30年前から受け継いでいます。

二つ目は人権学習です。年に2回の人権集会や、文化発表会があります。人権集会では、各クラスの取り組みの発表や人間関係づくりプログラムなどをしています。また、毎週水曜日、各クラスでさまざまなゲームをしながら人間関係を深めています。文化発表会では、これまでに学んできたことを生かし、人権劇を創り上げます。

私たちはこれからも生徒会活動を充実させ、もっとより良い大野中を目指して頑張っていきます。

議会を傍聴してみませんか？

次回12月定例会は、11月30日に開会予定です。

市議会ホームページでは議会だよりの
音声版を聞くことができます。TEL 0974-22-1001
市内無料電話 9-22-1001

広報編集特別委員会
委員長 赤峰 映洋
副委員長 高野 辰代
委員 小野 順一
委員 川野 優治
委員 工藤 秀典
委員 川野 辰徳